
究極の目覚まし

闇鈴

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

究極の目覚まし

【Nコード】

N7002B

【作者名】

闇鈴

【あらすじ】

ファンタジーな目覚まし（自作）をもちながらあまり朝起きられない少年総一と彼の親友でよくある美少女顔の少年（総一談）優^{あんまりいいよ}嬉これは二人の愛の（違）朝のお話

（前書き）

この話はひたすら作者のノリによってできています

―勇者よ、起きなさい。

勇者総一よ、起きるのです。―

「朝、か」

少年　というか俺は　起き上がるとそう呟いた

「いいかげんその目覚ましやめたら？」

俺のルームメイト兼親友の優嬉は俺に言った

「どうしてだ、毎日勇者気分が味わえるんだぞ」

俺は、まだ余韻に浸りながら（笑）そう答えた

「ボクは別に味わいたくないけど・・・」苦笑いしながら優嬉はそう言った

いつもの俺たちの会話だ

とりあえず紹介しておこう俺の名前は総一

ファンタジーとゲームが好きな普通の

「どこが」少年だ

特技は目覚まし作り

（ボクのツツコミはスルーなの？）

そしてこいつは俺の親友

名前は優嬉

男なのに美少女顔で一人称がボクなのでかなり萌える

「ボクが男なの忘れないでね、お願いだから（＾o＾）」

「さて、話に戻ろうか」

「誰に紹介していたの？」

「しかもかなり偏って」

「目覚ましの話だったよな？ たしか」

流石俺、華麗なスル―

「うん、そうだよ」

多少戸惑いながら優嬉はそう言った

「目覚ましなら他にもあるからそれにかえよう」

「どうせマシなの無いくせに・・・」

優嬉は呟いた、乙女座りでかわいかった（萌）

「なんか変なこと考えてなかった？ まあ良いや、目覚まし見せてよ」

「ああ、まずはコレだ」

― 起きろ、我が永遠のライバルよ。今日こそ決着を着けようではないか。―

「朝から宿敵と対峙している気分が味わえるぞ、コレなら」

「・・・次」

どうやら言葉も出ないほど感動したようだ（違）

「次のは凄いぞ、いろんな意味で」

― ぶるうああ！！！！

起きるか！ 遅刻するか！土下座してでも眠るのか！……

「・・・ホントに凄いや、いろんな意味で」

「コレなら絶対に起きられるだろ？」

何といってもバ○バ○スだからな はっはっは

「ところで総一、いつたい誰に土下座するの？」
そこかよツツコミは

「もちろん愛しきルームメイトに」

「土下座してもダメだよ、起きなきゃ」

優嬉は呆れたように言った

「それで、お前はどれが良い？」

一応聞いておこう、優嬉の嫌なやつはダメだからな

「どれもダメ」

「どうしてだ優嬉、特に三つ目のはオメガな位素敵じゃないか」
オメガな位というのはとてつもなくと言う意味だ
多分

「ボクが作ったの使ってよ」

「わかった」

「即決？」

愛する人からの贈り物なんだから当たり前だ（微違）

「はい、コレならきつと毎日静かに起きられるよ」

今までののはうるさかったのか、すまない優嬉

「早速明日から使わせてもらっよ」

「絶対だよ？」

優嬉は上目遣いで瞳を潤わせて言ってきた

「お前は俺を萌え死なせる気か？」

俺はそう呟くと学校に行く準備を始めた

結構遅れてるしな

「じゃあ行こう？総一」

「ああ」

こうして俺の一日は始まった
もちろん遅刻したが・・・

次の日

―起きて 総一。起きてくれないとキライになっちゃうよ？―

「総一がコレで起きない訳が無いからね」

「やっぱり俺を萌え死なせる気か？優嬉」

（後書き）

毎回同じ事を言いますが（二回目だけど）この駄文を読んでいた
きありがとございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7002b/>

究極の目覚まし

2010年12月11日02時17分発行